

新交通システムは？

町長

周知に努め
修正していく

【吉原】町民の日常最低限度の生活を維持するために、新しい公共交通の仕組みができた。
買い物弱者支援の施策としても大切な生活交通となるが、現状と課題は。
【町長】利用方法が巡回バスと異なり、予約が必要で料金も変わる。
高齢者に不安感があると心配している。

【吉原】料金は急に値上がりする。福祉タクシーは他の制度へ変わる。予約もわずらわしいと不満の声が大きい。
高齢者の外出支援という観点からも、周知徹底とシステムの改善が必要では。
【町長】試行期間を設けており、変更や修正も考えている。



4月から運行開始のスマイル大山号

吉原美智恵 議員

6次産業化 の推進は？

町長

展開を強めていく

【吉原】農林水産業と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した産業を創出する6次産業化の推進がはかられている。
6次産業推進室が

設けられているが、町民との連携の強化が必要ではないか。
【町長】6次産業化はあくまで行政の位置づけである。総合的な経済活性化策として展開していく。
【吉原】本町にとり、有望な施策と考える。

大山恵みの里公社が農林水産業者への支援や育成をはかり、町民と取り組んで行く役割を果たす。
取り組みを強化すべきではないか。
【町長】6次産業化の展開を強め、支援を進める。



スーパーマーケットに並ぶ大山町の産品